

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会

第7回事業最適化部会

日時：令和8年1月15日（木）14時から

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

議事次第

1 開会

2 審議事項

- (1) レインボーライド2025・マルチスポーツ視察における委員
からの意見について

3 閉会

【第5回事業最適化部会】 前回振り返り（レインボーライド2025、マルチスポーツの視察項目）

主な視察項目

ポイント① 開催のあり方について

- イベント開催による地域へのメリット及び負担
（道路混雑状況、横断ポイント混雑状況 等）
- フィニッシュエリア（NOP区画、プロムナード公園周辺）におけるイベントの状況
（沿道応援、スポンサー・自治体PRブース、キッチンカー、ライドとイベントの連携 等）
- ボランティアの活動状況
参考：ボランティア400人程度（マラソン財団、VLN、都障協）
- マルチスポーツの状況
（コンテンツ内容、参加者の様子、来場者数、盛り上がり 等）

ポイント② 収入増・新たな価値創造について

- 会場装飾の状況
（大会ロゴ・ルックの掲出、造作物（ステージ、のぼり、フェンス等）、会場の雰囲気 等）
- スポンサーとの連携
（スポンサーロゴの掲出、スポンサーPRブース、物品提供、VIP対応 等）
- 映像配信
（MXTVによる生中継、YouTube配信 等）

ポイント③ 費用対効果について

- 安全対策に係る資機材・スタッフの配置状況
（カラーコーン・鉄柵や警備員等の配置、交通誘導 等）

【第7回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見について

ポイント① 開催のあり方について

【運営全般】

○安全管理、運営動線がよく整理されており、**参加者満足度の高い仕組み**が整えられている。

【コース設定・沿道管理】

○お台場付近で道路の**一部のみ混雑が見られた**が、それ以外は流れていた。

○**通行不可による負担**はあるが、「東京」のイメージ向上との間でバランスがとれている。

○この距離は**ライト層には良い**が、**経験豊富なサイクリストはより長いルートを好む**だろう。

○海の森公園のコース追加など、**以前と比較しコースが改善**されている。

○Bike New Yorkとの国際的連携を掲げるのであれば、**案内サイン等の多言語対応**が必要。

○沿道管理の**ボランティアの楽しそうな声掛け**は、想像以上に大会自体を盛り上げている。

【付帯イベント】

○ブース出展も盛り上がっており、**自転車ファンは参加者でなくとも楽しめた**のではないかと。

○住民が気軽に立ち寄れる、**地元メリットがあるイベント**にしていく工夫は引き続き必要。

【第7回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見について

ポイント② 収入増・新たな価値創造について

【スポンサー獲得・露出】

- スポンサーブースは各社華やかな感じで、出展していた。
- フィニッシュゲートのロゴの配置などは良いが、**観客等が少なく、スポンサー増につながらない。**
- 配信での広告出稿や出演者衣装をスポンサーロゴが入ったものにするなど、**露出の工夫を。**
- ポテンシャルスポンサーの営業が薄く、投資価値としてはもったいない。
- エイドステーションは協賛企業が最も活用しやすいPR拠点。食品・飲料企業の参加を促すべき。
- ライト層向けに**健康、美容、旅行等のブース展開を行うことで協賛社の裾野が広がる。**
- MXを見たという人が多数いた。やはり**地上波生中継の影響は大きい。**

【VIPサービス・海外参加者誘致】

- VIPラウンジのサービスは充実しており、ホスピタリティの質は高かった。
- VIP価格に見合う**体験価値の明確化が必要。**
- Bike New Yorkとの連携や国外参加者誘致などに向け、魅力を高めるためには、**多言語対応が重要。**
- 東京湾の景色が良く、ライダーの満足度も高いことから、**海外からの参加者増が期待できる。**

【第7回事業最適化部会】大会視察における委員からの意見について

ポイント② 収入増・新たな価値創造について

【レインボーライドとTHE ROAD RACE TOKYOの連携】

- 経費削減にも限界があり、ロードレースをどのように位置づけるか、議論が必要。
- レインボーライドとTHE ROAD RACE TOKYOをセットでG C Tとして展開していくことが良い。
- 2つの大会の連携による露出の最大化が重要。週末全体をサイクリングイベントにするなど。

ポイント③ 費用対効果について

【資機材・人員】

- 以前に比べると資機材等は減っている。コース誘導をもう少し明確にした方が良い。
- 安全対策については問題ない。施工の工夫により資機材の更なる削減が可能ではないか。
- 首都高上は、資材・スタッフ数ともに充分というよりは過剰気味ではないか。

【契約のあり方】

- 入札により運営会社が毎年替わっているが継続性を持たせるための対応が必要。